

市民参加型ワークショップ（第2回）の報告

新設小学校の基本計画策定にあたり、市民参加型ワークショップを行いながら学校づくりを行います。第2回ワークショップ（以下WS）として、平成29年12月13日におおたかの森センター会議室にて開催しました。

当日は下記の内容で実施され、地区代表者、保護者代表者、有識者、学校関係者、事務局含め、総勢約30名の参加者により、学校と地域の関わり合いについての想いを述べていただきました。

- 1、はじめに（流山市教育委員会、千葉大学大学院教授：柳澤先生）
- 2、「地域にとっての学校」についての事例紹介（東京理科大学准教授：垣野先生）
- 3、基本計画策定の中間報告について（設計担当：㈱日本設計）
- 4、グループ討議 地域との連携について
議題：「どのようなときに学校へいきますか」
「子どもたちに教えたいたことはありますか」
「いま学びたいことはありますか」
- 5、班毎に発表（参加者）
- 6、まとめ（柳澤先生より）

1、はじめに

教育委員会、ならびに柳澤先生より、第1回WSを振り返りました。数多くの意見や議論があり、学校づくり通信第一号としてまとめています。

2、「地域にとっての学校」について

有識者として、東京理科大学准教授 垣野先生より、地域の中にある学校がどのような役割を担っているか、海外事例をも交えながら紹介していただきました。子どもを育てる場としての学校だけでなく、先生・住民をサポートする場所としてのあり方の興味深いお話を聞くことができました。



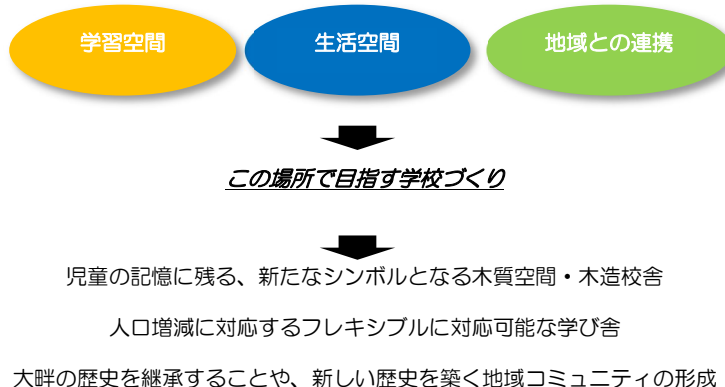
垣野先生による発表

3、基本計画策定の中間報告について

新設小学校の設計を担当する(株)日本設計小泉氏より、第1回のWSを踏まえた、新設小学校のコンセプトの発表がありました。

また、1回目に多くの議論がなされた「木」について地域産材の利用についての発表がありました。

最後に、施設設計を進めるために、大切にしたいことを図を用いて説明がありました。



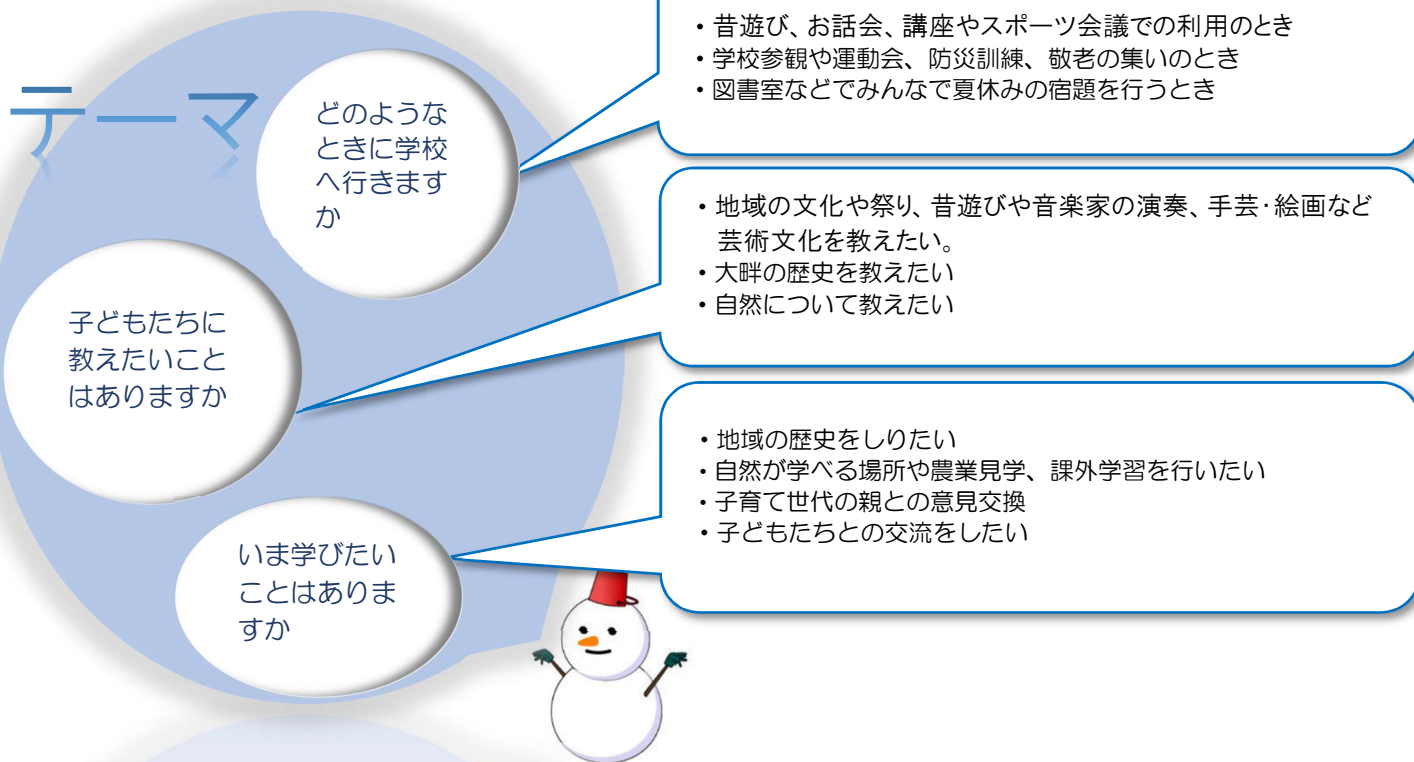
第1回WSを踏まえた新設小学校のコンセプト

4、グループ討議 地域に求められる施設について話し合い

第1回と同様、A、B、C班の3班に分かれ、「地域と学校」のあり方を主眼におき、3つのテーマについて、自分自身が主役のつもりで意見を出し合いました。

テーマは、「どのようなときに学校へいきますか（どのような状況であれば学校へいきますか）」
「子どもたちに教えたいたことはありますか」「いま学びたいことはありますか」でした。

主要な意見を以下に記載します。



班ごとの発表の様子



班ごとにまとめました

5. 今後の予定

あと2回のWSを行いながら基本計画を策定する予定です。

第3回ワークショップ：1月18日 14:00～

第4回ワークショップ：2月15日 14:00～

内容については、「流山市新設小学校建設 学校づくり通信」で随時お知らせします。